

令和三年度学校評価結果

認定こども園ふたば幼稚園

ここ 2 年ほどコロナ禍の中、学校評価委員に来園いただく機会が減っていますが、現状の園の学校評価について書面にて回答いただきました。

今後も学校評価委員にご指導をいただきながら、子どもたち・保護者、そしてそこに携わる職員のすべてが、幼児期に豊かな心と体を育ていける環境を構築できるよう邁進していきたいと思います。

学校評価

○評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教職員のシフト表を作成し、教職員間の共通理解をはかる。 幼稚園の状況をふまえて、今後の計画を策定する。	幼稚園運営の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。 幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに答える必要があるか、具体的な検討を推進している。
園児の行動を見据えた安全管理の確認をする。	遊具のチェック表を作成し、定期的に確認し、また毎月の行事の中に災害訓練日を設けている。
新型コロナウイルス対策に重点をあて状況に応じた園運営や教室経営を図る。	新型コロナウイルス変異株にも臨機応変に対応し、その都度状況に応じた感染拡大防止策を検討し、保健所や市町村との連携を密に、情報交換を行いながら登園基準を判断し開園している。
自己評価（メンタルチェックアンケート）の実施作成により、教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達のをとらえるための研修を定期的に実施するとともに、日々の姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、自由闊達に意見が開示できる環境をつくっている。

保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との懇談会を実施するとともに出された意見に対して、必要なものについては、園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。
---------------------------------	--

○学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、取り組み状況を話し合うことを通して、全職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、本園としての方針を明確にし、必ず実践することが出来る環境を整えることが出来ている。

○今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
認定こども園として教育・保育にかかるそれぞれの部分の共通理解を教職員全員で構築理解する	建学の精神による、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園型認定こども園としての姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。
情報公開の方法	現在、園便りや参観日を通して、保護者への周知徹底には取り組んでいるが、さらに進んだ情報公開として、一般の方が利用しやすいHP等の活用も検討していく。

学校評価委員意見

・A 委員

コロナ禍で職員の負担がかなり増えているにもかかわらず、取り組むべき課題に一生懸命取り組んでいる様子が資料からだけでもよくわかります。アンケートでは子どもをかわいいと思えなくなってきたに17人がないと答え、あるが0人。家庭や仕事に不満足が0人。もうこれだけで充分満足しているし、教師としての資格充分である。

他のこまかい反省点や自己判断はいろいろあっていい。人間だもの。

・B 委員

7つの目標が達成されるように様々な観点から創意工夫された実践計画が立てられている。複数担任制とフリー教諭との連携は園児ひとりひとりを把握しているふたば幼稚

園ならではの取り組みでありすばらしい。特にコロナ禍にある現状から臨機応変に対応するためのフリー教諭の役割は大きいと思う。また年度の始め前に担任が決定されていることも画期的であり準備に費やす時間と労力を有効活用していると考えられる。

阿見町もコロナ禍の影響を受けそのような状況でありながらも園を運営している園長先生をはじめ、様々な面でスタッフの皆様が頑張っている様子が伺われ頭の下がる思いです。私としても園の様子が気になりながらも行事や発表会等の参加が思うようにできず申し訳なく思っています。

これからもコロナ禍のみならず災害やいろいろな問題に直面することもあると思います。これまで培った対応が今後の新しい教育活動の場面できっと役立つことがあると思います。園児の命と心を大切にしているふたば幼稚園の教育方針が反映されていることを資料の中で十分感じました。

・C 委員

コロナウイルスへの対応お疲れ様でした。すべての項目において園全体の協力統制が必要と感じます。それぞれが意見しやすい環境を作り、大いにコミュニケーションを取ってもらいたいと思います。

コロナウイルスの影響はとて大きくイベントも中止や縮小が余儀なくされる近年。観覧できる保護者を制限したり、時間を短くしたり・・・子供たちが大きく成長する幼稚園。子供たちにとっての1年はとても重要だと思います。前のようにみんなに見守られながら、盛大にイベントができる日が早く来るよう願うばかりです。

・D 委員

教育目標達成に向けてそれぞれ取り組む課題はありますが、「完璧」を求めすぎず、常に「評価」「反省」を行って下さい。

自己評価集計表拝見いたしました。コロナ禍での2年が過ぎ様々制限を受けての園生活、園活動が教職員皆さんの創意工夫を重ねることで、明るく楽しく送れているようでその御苦労は大変なものだろうと拝察します。コロナ禍収束はなかなか見えてきませんが、「安全で安心できるふたば幼稚園」を創り続けて下さい。手書きの「クラスだより」ほっとします。とても温かいです。

・E 委員

※園の教育目標→「遊学」の精神に基づく幼児像、具体的で分かり易い。

※本年度重点的に取り組む目標・計画→明確で大いに期待できる。

※本年度重点的に取り組む評価項目・設定理由→環境変化の激しい時代に対応した内容・大変であろうと思いますが、頑張ってください。

※評価項目の達成、取り組み状況、評価結果→本年度は新型コロナウイルス対策、自然災害対策、保護者の要望、苦情対応等新たな項目に対する達成度、状況結果等について園内職員はもとより、保護者、町行政関係者との連携の中で判断すること大変であろうと思いますが、幼稚園発展のため頑張ってください。

自己点検、自己評価の実施に伴って、教師の資質向上に役立つものと思います。評価項目の達成及び取り組み状況、点検評価の実践状況を把握することにより達成度の判断が出来、教員の意欲向上にも役立つと思います。教員にとって研修と修養は教員であるかぎり付きまといます。大変であろうと思います。働き方改革が叫ばれている時代です。適宜ストレス解消も考えていただければと思います。

・ F 委員

自己評価アンケートの個人メンタル面を拝見しまして教職員の皆様が大変な思いをしているのに、毎日笑顔でいる事に本当に頭が下がります。認定こども園となり小さい園児も加わって思いもよらない事も起こるかもしれません。毎日小さな事も見逃さず目配りして園児に被害がないようにしていただき、ありがとうございます。

降園時の1人1人の引き渡し、とても良いと思います。来年度は感染症も落ち着いて園に伺える日が増えるのを楽しみにしております。幼稚園でなくては得られない集団生活の基盤が計画的に指導されている。各教室の環境が発達に応じて整えられている。園児の視聴覚で促されるように整然と情報が提供されている。朝の時間や外遊びに教諭がついて適切な指導が成されている。

総合評価

・ A 委員 「評価ランク A」

避難訓練も地震・火災・竜巻といろいろな訓練を園児に経験させるのは良いことだと思う。

又、コロナ禍で生活発表会を観られない親たちのために DVD を販売するなど、新しい試みを取り入れている。

・ B 委員 「評価ランク A」

指導計画と目標が園の実態に即しており、月案週案日案の中で生かされている。達成状況の確認をすることにより園児の生活習慣の獲得が促され

ている。発表会等様々な状況から縮小せざるを得ない状況でありながら、園としての役割を果たし活動の推進に努力の成果がみられる。

また、園からの手紙やクラス便りを通して園児の様子を分かりやすく開示し、協力連携して取り組んでいる。

・ C 委員 「評価ランク A」

現在、コロナウイルスに対する対応や勤務体制の変化で時間が割くのが難しくなっている現状なのではないかと思います。そんな中でこれらの教育目標や取りくみは素晴らしいものだと思います。子供たちに愛情を持って接し、信頼関係が築けるようますますがんばってほしいと思います。

・ E 委員 「評価ランク A」

※園の教育目標、本年度の取り組む目標、計画の重点化、重要な評価項目とその理由、達成及び取り組む状況等、具体的で明確である。

※幼稚園等のチェック(集計表)、自己評価、メンタルチェック等、分かり易く評価し易い。

以上、評価結果の判断や達成度等も理解し易く、次年度へ活かせる期待が持てる。

・ F 委員 「評価ランク A」

ふたば幼稚園の教育目標にある「7つの幼児像」をもとに先生方が幼児1人1人にていねいに、そして一方的でない教育をしておられると思います。竜巻の訓練、また事前に周知しない地震の訓練もとても有効だと思いました。継続を望みます。